



京都市地域企業未来力会議

News Letter

令和3年

16号

3月26日（金）今年度3回目の京都市地域企業未来力会議を開催しました。9組のビジネスアイデアの発表を京都信用金庫 QUESTION 7Fとオンラインで実施。発表後は、アイデアへの共感や応援、協力できることなどについて意見交換が行われました。



市長・顧問からの挨拶



門川大作

京都市長



京都府中小企業団体中央会
会長

阪口 雄次

未来力会議が始まり6年目を迎える。委員の皆様が見守りながら、若い方々が進めているのが良い。京都には素晴らしい人材がいる。それぞれの志をつなげていきたい。一人一人が自らの生き方と地域社会と事業の発展を一致させていくというのが、未来力会議の哲学だ。創造的な取り組みを広げていることに感謝している。あらゆる京都のポテンシャル、人間力を生かしていく。魅力的な、次世代につなげる京都をつくってきたい。

コロナの収束を見出せない中、様々な情報が錯綜している。アンテナを高くし正しく怖がることが大切だ。京都独特の他人を思いやる生活をしていけば良いように思う。京都信用金庫様が新しく建てられた QUESTIONで開催され、オンライン配信もあり、いろいろ工夫し発表されるそれぞれの内容を楽しみにしている。

ビジネスアイデアの今年度の成果発表

進行：風間美穂（一般社団法人リリース）

第1部は今年度のビジネスアイデアの成果発表を行いました。最終ビジネスプラン及び現在の進捗等についてのプレゼンテーションを実施。オンライン参加では、オンラインシステムのQ&A画面に共感や応援コメントを書き込み、共有を行いました。



発表動画はQRコードからご覧いただけます。

01 家にいたい人のためのハローワーク（仮称） | 株式会社MIYACO



これまでの働く様式、生活の変化から在宅ワーク、ZOOMという新しいツールを使う働き方も生まれている。育児や介護など家から離れられない方々が、企業の人手不足の解消、在宅で働き社会に貢献できる、そういう社会の実現をビジネスアイデアとして考案した。今年度はアンケート及びヒアリング調査を実施。在宅で可能な仕事が見受けられ、中には専門的技術の習得、ジョブステップの可能性のある事案も生まれた。自走に向けてはパートナーと共に運用へと進めるとともに、運用費のマッチングという課題の共有があった。

02 麦芽粕再利用プロジェクト | 株式会社翠灯舎



コロナ禍で予定していたイベント等が中止となった有志のクラフトビール部と複数の醸造所が連携し、麦芽粕を用いた循環を生み出すプロジェクトを進めている。麦芽粕は栄養価や飼料としての可能性があることに加え、連携が困難である醸造所同志の問題意識の共有が必要である点に着目した。麦芽粕のグラノーラの開発ではコミュニティを生かした展開により、自主的なレシピの共有や新規顧客開拓、醸造家の再発見もみられた。そのほか福祉施設でのお菓子の開発。肥料にしたホップの醸造の実験も進めている。考案中の麦芽粕を活用した糠床のサブスクリプションサービスでは、京都の焼き物で作った糠床ポットを採用。麦芽粕再利用プロジェクトへの参加の呼びかけがあった。

03 KYOTOVEGAN | 合同会社KYOTOVEGAN



アフターコロナでの観光の最大の武器として、京都を「ヴィーガン」で再発見してもらいアップデートしていく取組。東京や世界での「ヴィーガン」の動向や注目度に加え、食だけでなく「動物性を減らす」というライフスタイルや企業活動の重要性の説明があった。またアート、新しい視点を使い、地域企業の事業に合わせたヴィーガンのキュレーション事業についての呼びかけと共に、協業企業との製作中のイメージマップのビジュアル共有があった。KYOTOVEGANの視点を元に施設やお店をつなげる役目も目指し、衣食住に拡大し京都の可能性を上げていく。

04 V + R KYOTO museum | 株式会社OpEL



コロナ禍での子供たちの体験の機会が不足したことから学習意欲、職業意識の形成の課題に注目し、科学館・博物館のバーチャル体験と、ものづくりを科学で説明する教育プログラムを考案した。手書き京友禅や北山杉などをテーマにテスト実施。体験する仕事から科学と技術の視点や、携わる職人の生き方に着目した。大都市からの参加が多く、大人の参加者もみられた。行政、学校との連携が重要と感じた。今後はオンラインライブラリー化のほか、地域企業などの潜在顧客へアプローチし、海外発信を行っていく。自社の強みを科学で伝えたい地域企業へ連携の呼びかけがあった。

05 WORK&LIFE RENOVATION | 株式会社ROOTS



コロナで都市経済だけに頼らない生き方を模索する人材が旧京北町域を訪れている。その生き方を模索しながら、里山の知恵を世界に繋げ、レジリエンスのあるこれからの生き方を創る事業。クリエイティブに丸太を使う3つのプラン、副業支援ツアー、デザイナーズインレジデンス、国際教育ツアーを企画。2日間のスツール制作ツアーでは16名が参加し51アイテムを制作した。収益が生まれたほかイベントをきっかけに海外アーティストが1ヶ月間滞在中に展示会を開催し、移住が決定。関係人口を増やす取組など、多くの波及効果が生まれている。

06 ユニバーサルエアデザイン京都 | 株式会社片山工務店



新型コロナに負けない、安全な建築環境を創造するための新しい室内環境の指標作りを目指したプラットフォーム事業。建物の密閉密集度合いの管理の実態調査など5回の勉強会を開催し、実測調査からマイクロ飛沫、飛沫、接触の3つの感染経路を踏まえ、換気対策の重要性を再確認した。現在は仮想店舗を元に仮説を立て、専門家、学者を交え、3段階での指標作りへと進めている。アイデアと課題を抽出、実験実証し9月19日の指標発表を目指す。協業についての呼びかけがあった。

07 ポストコロナ社会に向けた内発的イノベーションによる組織作りのための 人材開発プログラム&WEBメディアの共創 | 一般社団法人こころ館



一人一人に焦点が当たり、個人が自分にあった学び方など「個別最適化」がコロナ禍の社会で加速していくことに注目した。ビジネスプランとして「内発的イノベーション研究所」を設立し、サイト上で研究レポートや自己診断や、社内研修で使えるツールを開発。トライアル研修、連続研修プログラムも提供。未来力会議を通じ、研究者、企業との共創を実施。無料モニター募集の呼びかけがあった。

08 コロナ禍における若者の孤立を救う、タスクフォース事業 ～靴から始まる、若者活性化コミュニティ～ | 株式会社革靴をはいた猫



コロナ禍で加速した若者の孤立、孤独に注目し、複数の社会課題解決プロジェクトを立ち上げる「コレクティブインパクト」事業の発表があった。孤立する大学生に向けたオンラインイベントを開催したほか、履かなくなった靴を寄付する「手放す貢献プロジェクト」を大丸京都店にて開催。1週間で256名、822足が集まった。提供いただいた著名人のエピソードと合わせて展示。靴磨きや修理のチケットをつけて販売し、新たな就業者の就業機会を増やしていく。「コレクティブインパクト」での展開を目指した共創の呼びかけがあった。

09 Creating a society where all people can shine through art | 華～puspa～



コロナ禍でアーティストがパフォーマンスする場がなくなっていた。人々の生きづらさに寄り添ったアート事業を考案した。目隠しをして楽しむ暗闇コンサートでは、脳性麻痺や聴覚障害のパフォーマーが出演。25人満席で開催することができ、追加公演が決まった。未来力会議に応援いただいたことで、チラシ制作や会場の確保ができ、マスコミにも取り上げられた。今後、地域企業や団体とアートとのコラボレーションを広げていく。

アイデア発表者へのフィードバック、意見交換

進行：桜井肖典（一般社団法人リリース）

9組の発表後、オンラインと対面に別れ共感や応援コメントなどのフィードバックを行った。会場では参加者同士の意見を交わすことで共感とともに新たな共創のアイデアも生まれた。



世話人からの挨拶



生活空間Asanoya 代表
伏見大手筋商店街振興組合代
表理事 会長

浅野 雄祐

素晴らしい発表ありがとうございます。発表された団体の内2団体が過去に大手筋商店街との関わりがあった。商店街は毎日人の往来がみられる。人の動きはだいぶん戻ってきたと感じる。しかし笑顔がまだまだ少ない。次は人の活性化をしていきたい。来期は「華 〜puspa〜」さんとイベントができればと思う。地域企業の皆様、商店街を是非活用して欲しい。



株式会社芳村屋
代表京都青年中央会顧問

芳村 敦

たくさんのコロナを乗り越える企画の発表があった。経済団体からみてもコロナだからできること、活動を止めないということを大事にしている。交流が自粛せざるを得ない状況もあり、連携や協力が発揮できなかったこともあるかと思う。コロナ禍をマネジメントすることからコントロールするような視点で、企業間連携や成長できるような機会にブラッシュアップしていければと思う。

●事務連絡

第3回未来力会議、当日の映像について

3月26日の地域企業未来力会議の発表動画はYouTubeでご覧になれます。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLzdqLz5A4bzteHR-4N0sQ_GNqeZlBV_zb



令和3年度の主な地域企業・中小企業支援策について

令和3年度の主な地域企業・中小企業支援策として、中小企業相談窓口の体制強化やデジタル化推進事業、中小企業等再起支援補助金の創設、スタートアップエコシステム推進プロジェクト、地域企業応援プロジェクトの5つの事業に絞って概要を紹介した。また、新型コロナウイルスに関する事業者支援制度について、京都市、国・府の主な支援制度をまとめて京都市ホームページでお知らせしていることを案内した。

地域企業応援プロジェクトWEBについて

地域企業応援プロジェクトWEBについて 地域企業未来力会議の内容や、地域企業のアイデアの具体化を支援する、「地域企業応援会」等の情報を掲載しています。是非アクセスしてみてください。

京都 地域企業応援プロジェクト 検索

<https://community-based-companies.kyoto/>

発行：京都市地域企業未来力会議 事務局（京都市産業観光局 地域企業イノベーション推進室）

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

TEL 075-222-3329 FAX 075-222-3331 URL <https://www.facebook.com/kyotoshichushokigyo/>

MAIL chiikikigyo@city.kyoto.lg.jp